

## 【AWR 期間比較レポートの概要】

AWR レポートとは、

AWR レポートでは、2つのスナップショット（データ取得開始時点のスナップショットとデータ取得終了時点のスナップショット）から、D/Bの累積統計情報の差分を算出して、この時間内のデータベースの稼働記録を実行統計情報として出力した Oracle インスタンス全体を調査した実行統計レポートである

AWR 期間比較レポートとは、

AWR 期間比較レポートでは、『2つの期間』の稼働記録の実行統計情報を比較し、その差異を出力している

すなわち、**比較元**の AWR レポートと**比較先**の AWR レポートの差異を算出した比較値の稼働記録の実行統計情報を出力しています

なので、使用されるスナップショットは、**比較元**の「データ取得開始時点のスナップショット」と「データ取得終了時点のスナップショット」と、**比較先**の「データ取得開始時点のスナップショット」と「データ取得終了時点のスナップショット」の4つが必要になる

レポート内容は、パフォーマンス属性（稼働記録の実行統計情報）の詳細と、2つの期間で異なる構成の設定が出力される

### 【特徴】

AWR 期間の比較レポートで選択した2つの期間は、異なる長さの時間間隔です。

（スナップショット取得時間は、自由に指定されるので2つのスナップショット間の経過時間は、異なる場合がある）

よって、AWR 期間比較レポートでは異なる期間の統計データを比較するために、**時間間隔を正規化し、同一時間の尺度の統計データに変換して出力している**

また出力される順序は、各セクション（項目）とも期間ごとの差異の大きい順に統計データを表示される

ベースラインとは、

ベースラインとは、AWR 期間比較レポートで**比較元**となる稼働記録の実行統計情報で、レポート作成時に指定できるスナップショットのグループ・セットである  
スナップショットのペアまたは範囲を指定して、ベースラインを作成保存する  
なお、スナップショットがベースラインに含まれると、AWR の自動消去プロセスから除外され、無期限に保持され続ける

ADDM とは、

AWR のスナップショットをもとに実行統計情報を解析・診断し、ツール自身のログブックにてパフォーマンス上の『**問題箇所を自動特定**』し、その事象発生の原因追究と解決法の提示を行うユーティリティ・ツールである

作期間比較レポートに関する作成資料

- p094.docx 期間比較レポートの画面からの作成方法
- p095.docx 期間比較レポートのコマンドからの作成方法
- p096.docx 期間比較レポートの評価比較値（見方）
- p097.docx ベースライン（AWR スナップショット）の管理